

事務事業名	真岡市児童生徒指導研究会運営交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和62年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費				
事業概要	児童・生徒の指導を推進するための実践発表会及び研究集録発行を行うために、同会に対し運営支援を行う。交付金額144,900円 会員は、各小中学校教員2名、小中学校長代表1名							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、運営支援のための交付金を交付する。 2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	交付金額	千円	170	170	145	145	145
	イ	研究会の開催数	回	2	2	2	2	2
	ウ	研究集録の発行回数	回	1	1	1	1	1
エ								
オ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市児童生徒指導研究会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	会員数	人	55	55	47	47	47
	イ							
	ウ							
エ								
オ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 児童生徒の指導の充実を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	児童・生徒の指導の充実が図られた児童数	人	4,473	4,398	4,349	4480	4,380
	イ	児童・生徒の指導の充実が図られた生徒数	人	2,366	2,265	2,237	2,281	2,253
	ウ							
エ								
オ								
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか） 学校教育の充実	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移							
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア	学校教育の充実が図られた学校の割合	%	100	100	100	100	100
	イ							
	ウ							
エ								
オ								

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	170	170	145	145	
	事業費計(A)	千円	170	170	145	145	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	174	174	149	149	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	児童・生徒指導の推進を図るため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	不登校や特別支援教育、外国人児童生徒の増加など学校における諸問題が多様化している。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	